

# 令和7年度ふくしま学力調査結果について

郡山市教育委員会

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

児童生徒一人一人の学力の伸びや学習等に対する意識、生活の状況等を把握する調査を実施し、教育及び教育施策等の成果と課題を検証するとともに、その改善を図るための方策を構築し、一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

### (2) 調査内容

#### ① 児童生徒に対する調査

##### a. 教科に関する調査

○ 小学校・義務教育学校前期課程：国語、算数

○ 中学校・義務教育学校後期課程：国語、数学

##### b. 質問調査

○ 学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

#### ② 学校質問調査（Web システムより回答）

学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

### (3) 調査対象

① 小学校・義務教育学校前期課程 51 校 第4学年～第6学年（児童 7,665 名）

② 中学校・義務教育学校後期課程 27 校 第1・2学年、第7・8学年（生徒 4,717 名）

## 2 調査結果の公表

### (1) 各教科における平均正答率と学力のレベル

### (2) 各教科における令和6年度調査から学力が伸びた児童生徒の割合

### (3) 児童生徒質問調査の回答と学力階層、児童生徒質問調査の回答間の相関関係

#### 【学力のレベルについて】

様々な難易度の問題を出題し、それに対する正答や誤答の状況を見ることで、学力を判断している。学力は、レベル1からレベル12までのレベルで表されている。各学年の測定は、小学4年生であれば、レベル1からレベル7のように7レベルの間で行っている。また、それぞれのレベルは、さらに細かく3層（高い順にA→B→C）に分かれており、同じレベルの中でもスモールステップで「学力の伸び」が分かるようになっている。児童生徒には、学力のレベルはこの小さな層で分けた1-Cから12-Aまでの36段階で提示される。

#### 【学力のレベル一覧】

		小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
高 ↑ 学 力 ↓ 低	レベル12						A B C
	レベル11					A B C	A B C
	レベル10				A B C	A B C	A B C
	レベル9			A B C	A B C	A B C	A B C
	レベル8		A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	レベル7	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	レベル6	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	レベル5	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	
	レベル4	A B C	A B C	A B C	A B C		
	レベル3	A B C	A B C	A B C			
	レベル2	A B C	A B C				
	レベル1	A B C					

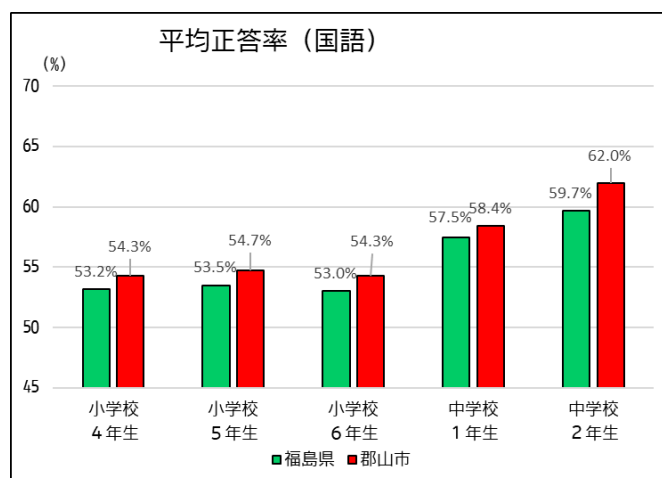
※ 福島県は中学3年生の実施なし

### 3 調査結果

#### (1) 各教科における平均正答率と学力のレベル

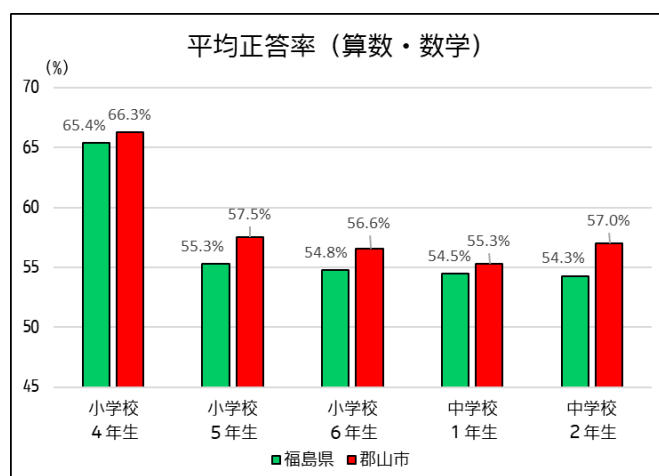
##### 【国語】

国語		小学校 4年生	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生
福島県	平均正答率	53.2%	53.5%	53.0%	57.5%	59.7%
	学力のレベル	6－C	6－A	7－C	7－A	8－B
郡山市	平均正答率	54.3%	54.7%	54.3%	58.4%	62.0%
	学力のレベル	6－C	6－A	7－C	7－A	8－B
平均正答率の比較 (郡山市－福島県の値)		1.1	1.2	1.3	0.9	2.3



##### 【算数・数学】

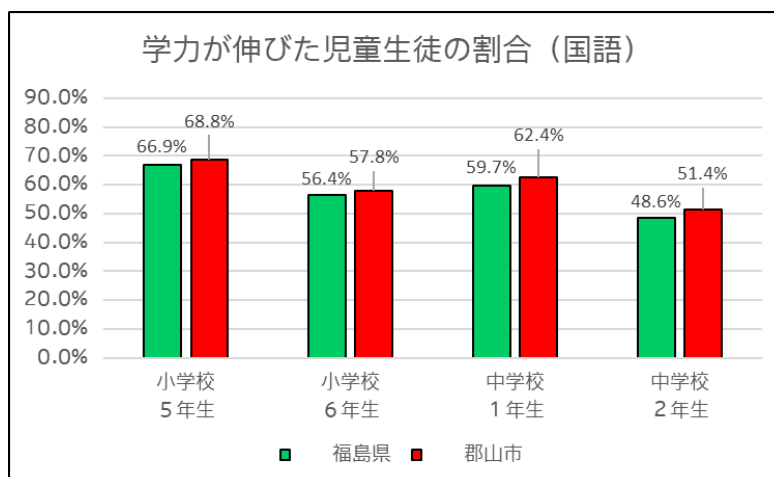
算数・数学		小学校 4年生	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生
福島県	平均正答率	65.4%	55.3%	54.8%	54.5%	54.3%
	学力のレベル	5－C	5－A	6－B	7－C	7－A
郡山市	平均正答率	66.3%	57.5%	56.6%	55.3%	57.0%
	学力のレベル	5－C	5－A	6－B	7－C	8－C
平均正答率の比較 (郡山市－福島県の値)		0.9	2.2	1.8	0.8	2.7



(2) 各教科における令和6年度調査から学力が伸びた児童生徒の割合

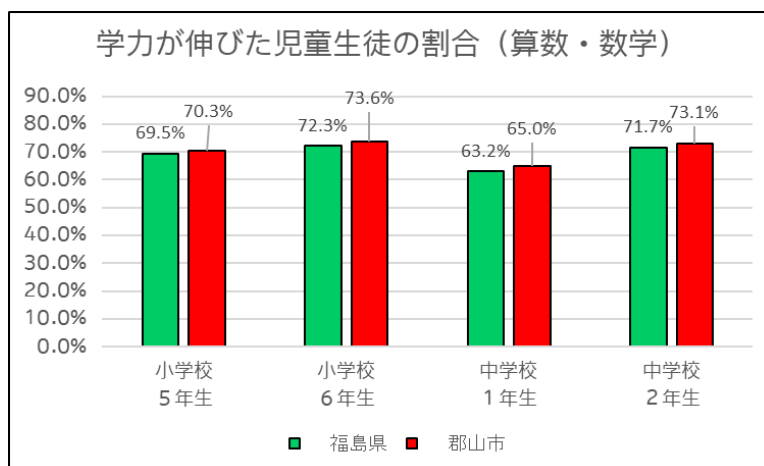
【国語】

国語	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生
福島県	66.9%	56.4%	59.7%	48.6%
郡山市	68.8%	57.8%	62.4%	51.4%
県との比較 (郡山市－福島県の値)	1.9	1.4	2.7	2.8



【算数・数学】

算数・数学	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生
福島県	69.5%	72.3%	63.2%	71.7%
郡山市	70.3%	73.6%	65.0%	73.1%
県との比較 (郡山市－福島県の値)	0.8	1.3	1.8	1.4



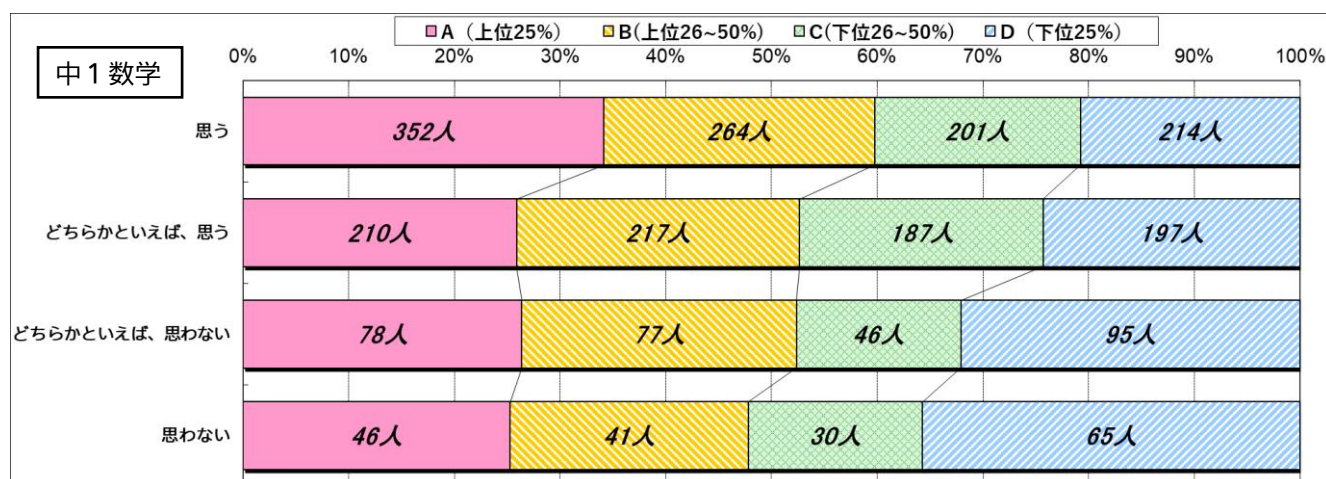
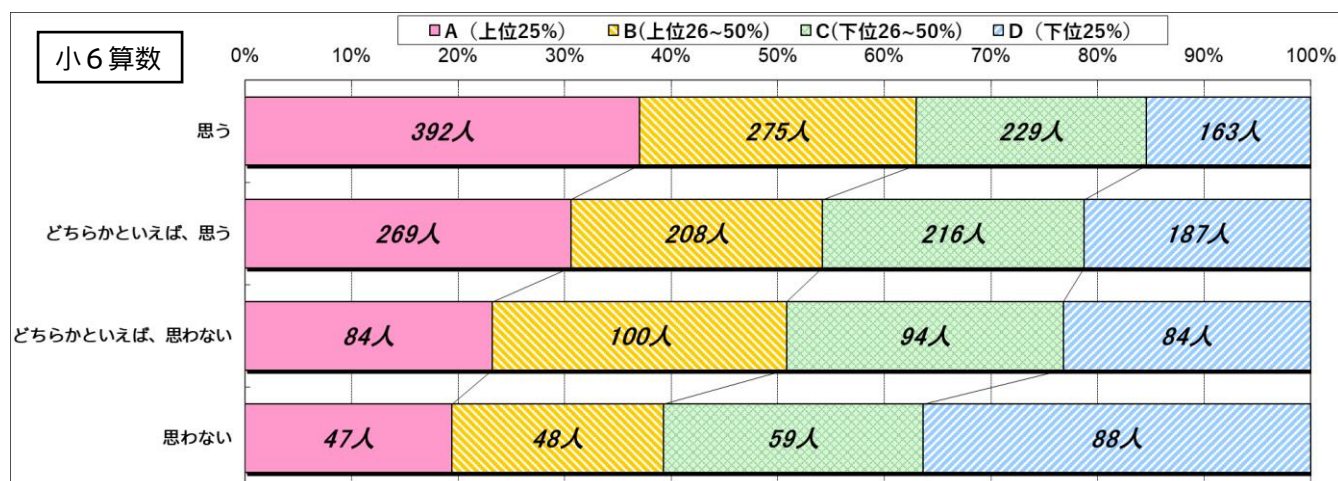
◎「学力が伸びた児童生徒」の算出について

1. 集計対象となる児童生徒の「学力のレベル」を数値化（「1-C」は「1」～「12-A」は「36」）し、前年度との差を計算している。
2. 令和7年度の学力レベルの数値が、昨年より1以上増加している児童生徒を「学力を伸ばした児童生徒」として算出している。

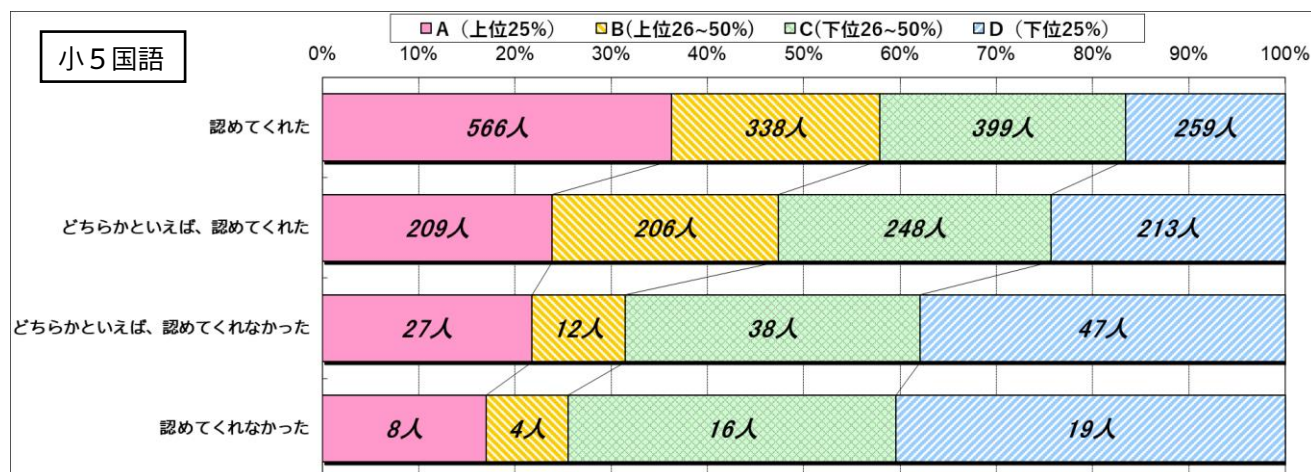
(3) 児童生徒質問調査の回答と学力階層、児童生徒質問調査の回答間の相関関係

※ グラフは、顕著な結果が見られた学年と教科のものを例示した。

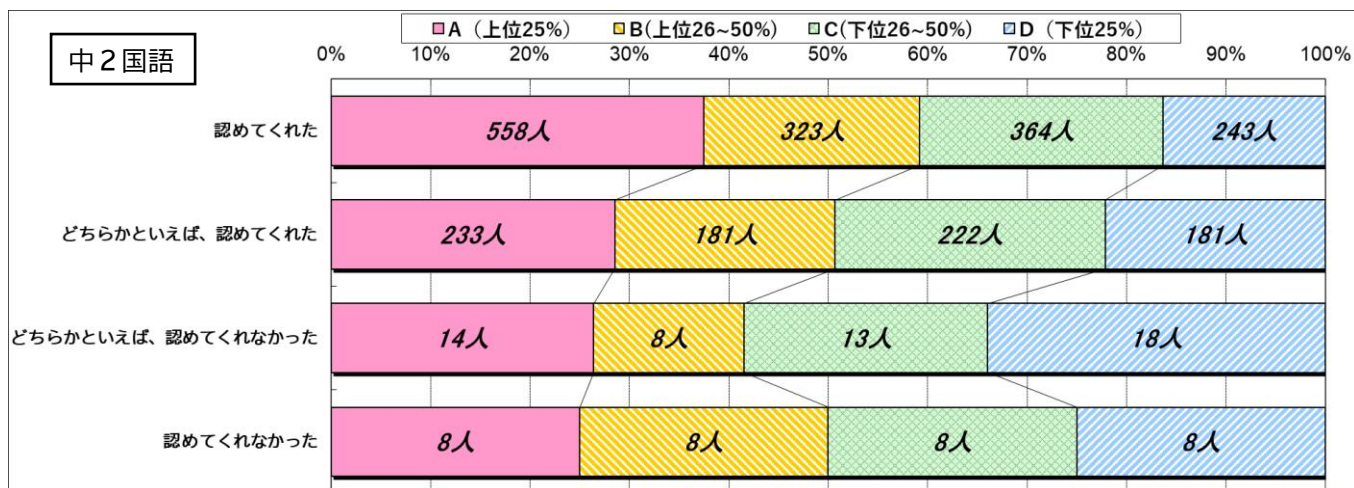
① 【問】「自分には、よいところがあると思いますか」と学力階層のクロス集計



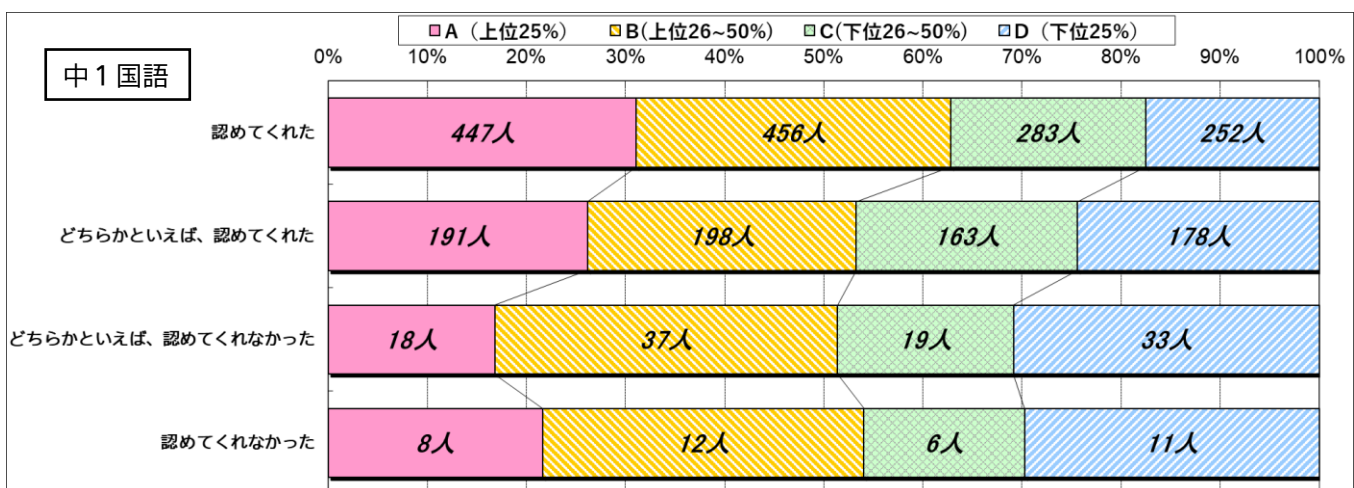
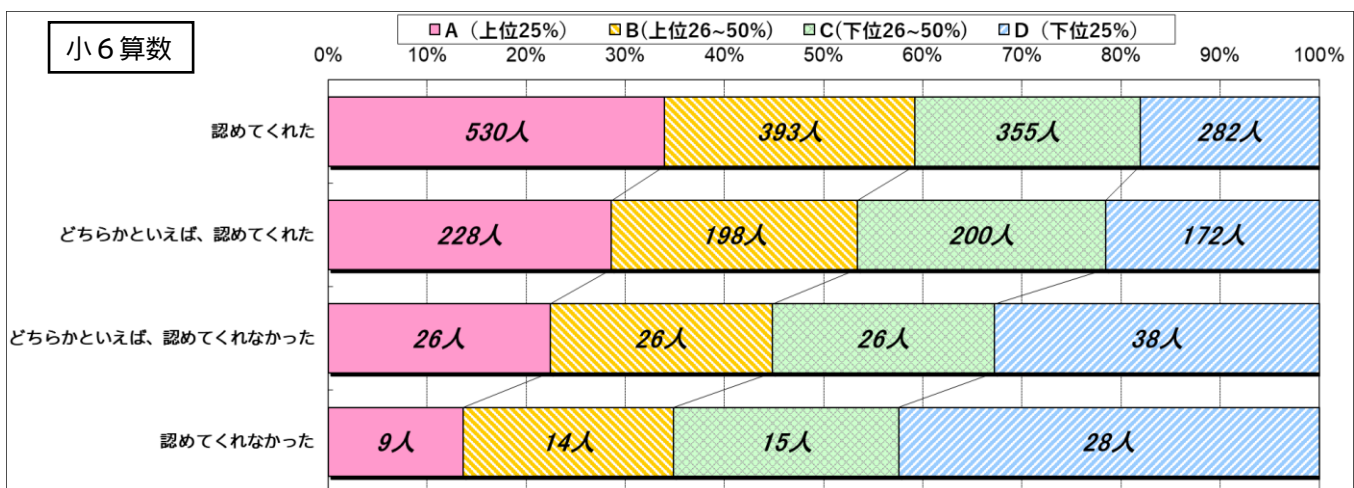
② 【問】「学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか」と学力階層のクロス集計







③【問】「学校の友達は、自分のよいところを認めてくれましたか」と学力階層のクロス集計

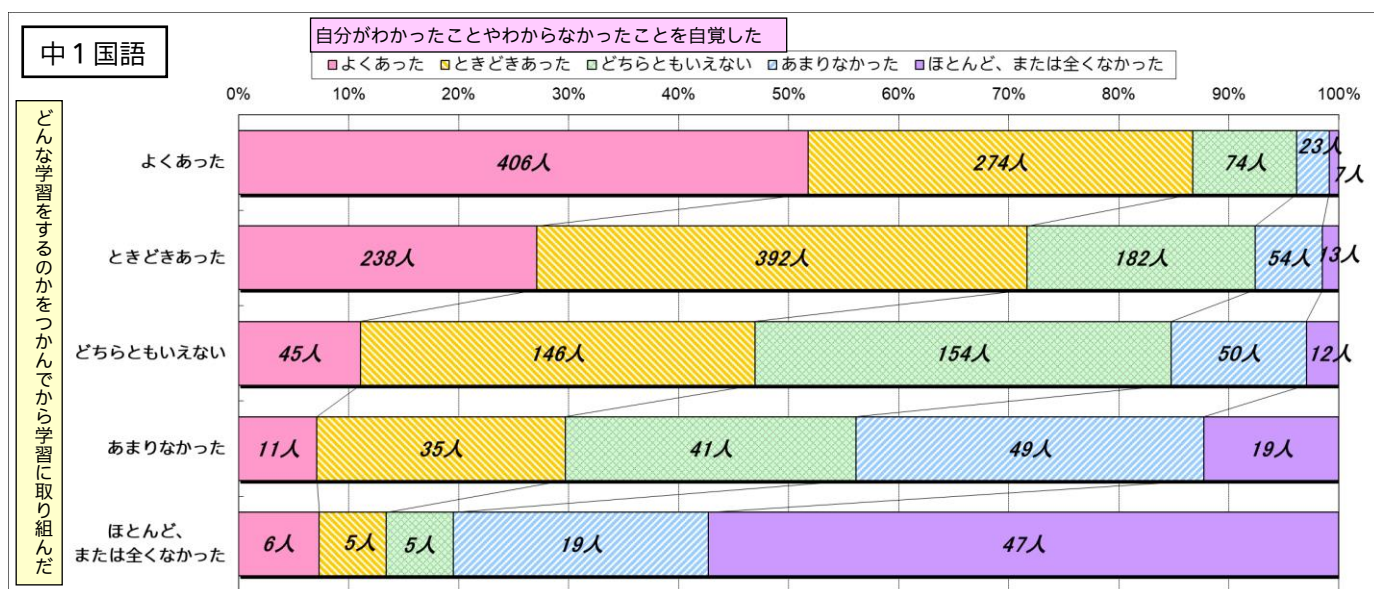
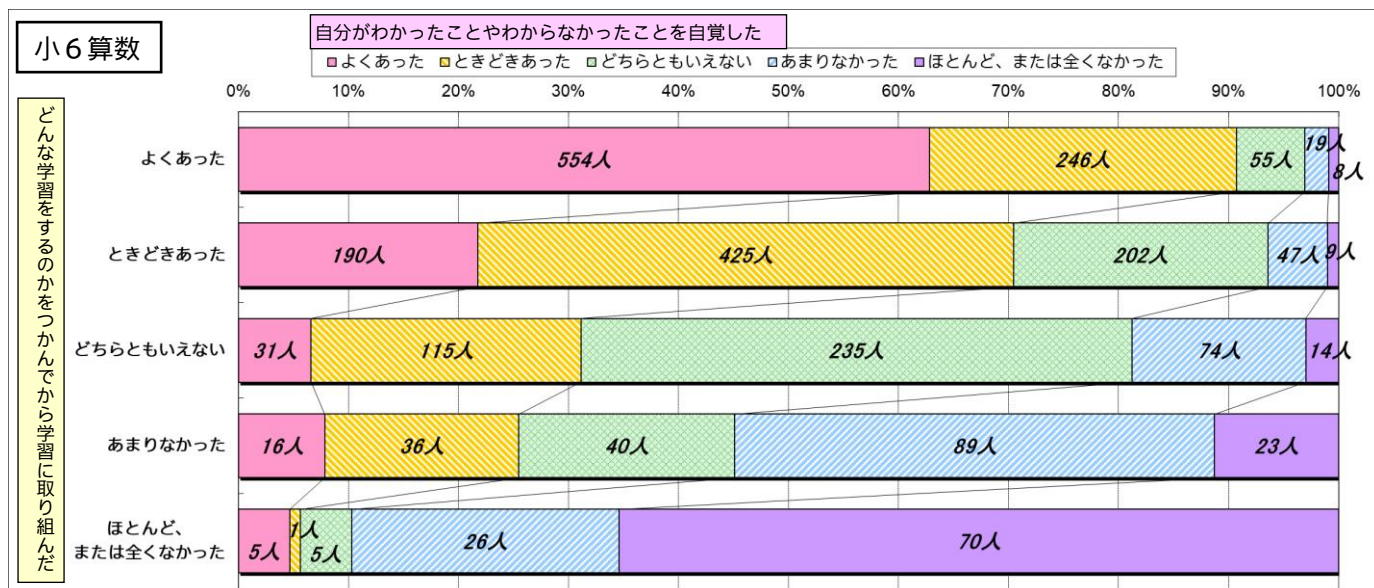


【授業等改善のポイント1】

「自分によいところがある」、「先生は自分のよいところを認めてくれている」「友達は自分のよいところを認めてくれている」と回答している児童生徒ほど学力が高い傾向にある。

学級経営等において、**教師が積極的に児童生徒のよいところを認めることや、児童生徒同士が互いのよさを認め、高め合う雰囲気**を醸成することによって、**達成感を得たり、自己肯定感を高めたり**することが学力向上につながると考えられる。

④【問】「授業の始めに、今日はどんな学習をするのかをつかんでから学習に取り組んだことはありましたか」と【問】「授業の終わりに、授業で学んだことをふり振り返り、自分がわかったことやわからなかったことを自覚したことがどれくらいありましたか」のクロス集計



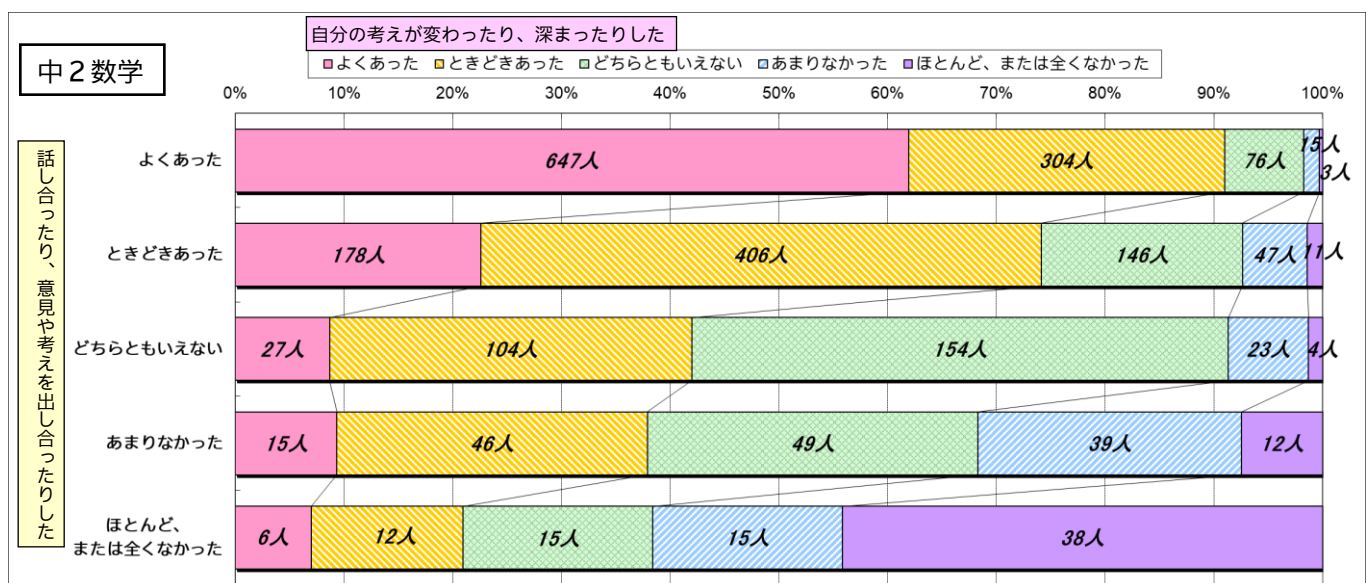
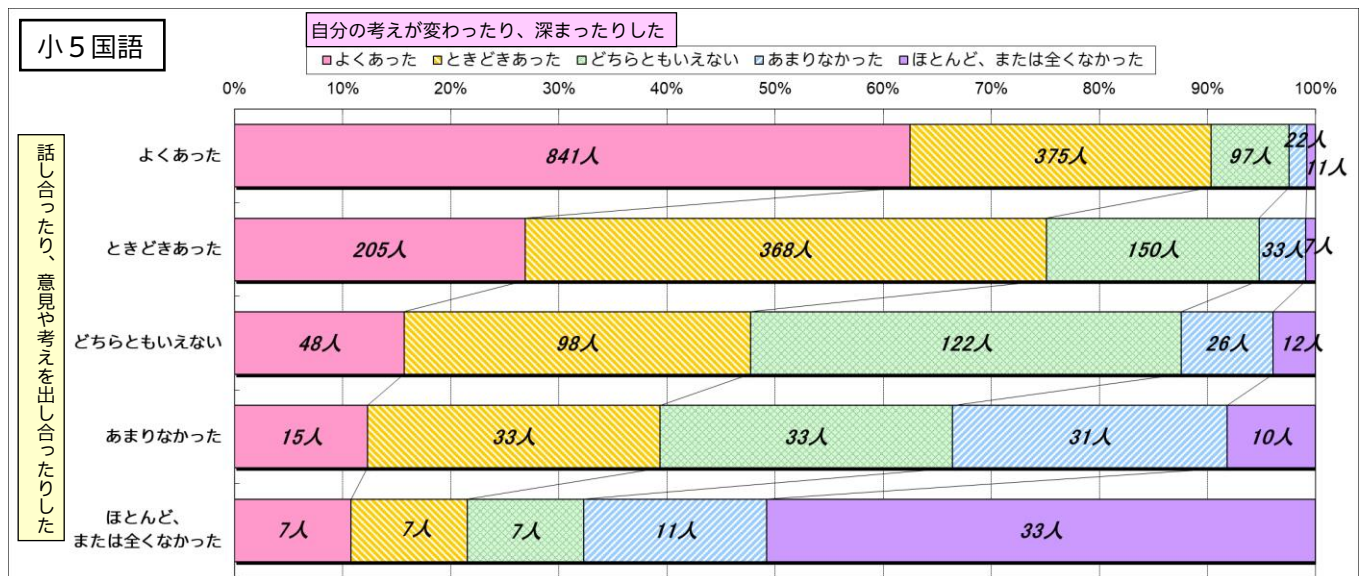
### 【授業等改善のポイント2】

授業の始めに、今日はどんな学習をするのかをつかんでから学習に取り組んだ児童生徒ほど、授業の終わりに、授業で学んだことをふり振り返り、自分がわかったことやわからなかったことを自覚している傾向がある。

今後も、児童生徒の「問い」や「思い」などを焦点化して学習課題に設定することで児童生徒自身が学びの見通しをもてるようにすることや、自分の言葉でまとめる時間を確保すること等により、児童生徒に充実感や達成感などの学びの手応えを感じさせることを大切にして指導することが、新たな学びへの意欲や学力向上につながると考えられる。



⑤ 【問】「グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したことはどのくらいありましたか」と【問】「話し合いや集めた資料から、自分の考えが変わったり、深まったりしたことはどのくらいありましたか」のクロス集計

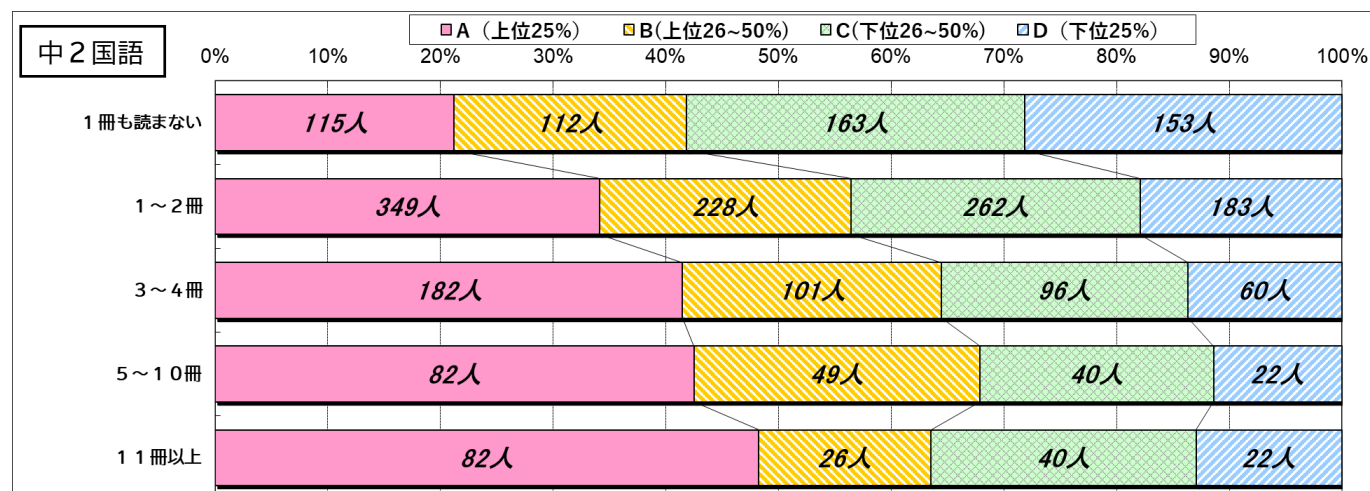
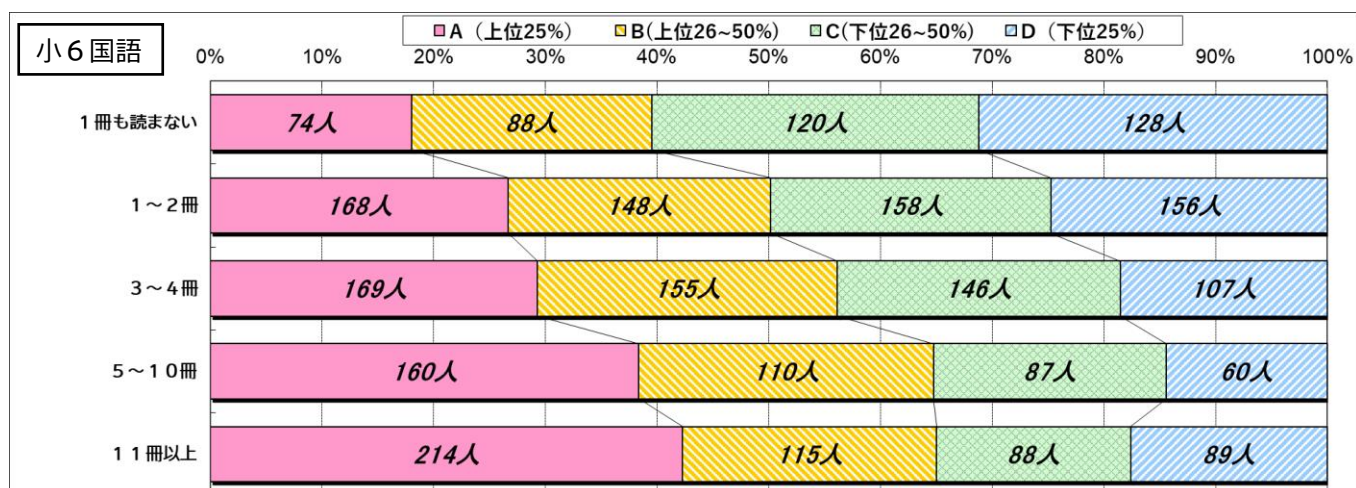


### 【授業等改善のポイント3】

話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決した児童生徒ほど、自分の考えが変わったり、深まったりしたと自覚している傾向がある。

今後も、児童生徒の主体的な学びを促すために自分の考えをアウトプットする場を意図的に設定したり、**他者との交流を通して自らの思いや考えを広げ、深めることができるよう比較・検討する機会**を設定したりするなど、**教師が授業のコーディネート**を工夫することが学力向上につながると考えられる。

⑥ 【問】「1 か月に、何冊くらいの本を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）」  
と学力階層のクロス集計



【授業等改善のポイント4】

読書量が多い児童生徒ほど学力が高い傾向がある。

児童生徒が読書に親しむことができるよう、学校図書館長である校長のリーダーシップのもと、司書教諭、学校図書館担当教員、学校司書を中心に、**学校における読書活動の充実**を図ることが重要である。また、**各家庭と連携**し、家庭での読書機会の確保や地域の図書館の活用、親子読書の推進などに努めていくほか、タブレット端末を活用した郡山市電子図書館の利用促進も図っていく。

(4) 各学校における改善策等

- ① 各学校では、本市の結果分析の他、自校の正答率、学力を伸ばした児童生徒の割合、児童生徒質問調査の回答と学力階層との相関関係など、より詳細な分析を通して、「学力向上プラン」の見直しや質の高い授業への改善を図り、児童生徒一人一人の学力の向上に努める。
- ② 児童生徒に配付される個人結果票の「学習に関するアドバイス」や「教科の領域別正答率」などを活用し、正答率の高い領域をさらに伸ばしたり正答率の低い領域を克服したりするための指導を行う。その際、平均点や他の児童生徒と比較することが重要ではなく、自分の学力がどれだけ伸びているのかを知ることが重要であることを伝える。
- ③ 11月4日に開催の「第2回郡山市学力向上支援事業全体会議」において、中学校区で各学校の成果と課題を共有した。共有した情報をもとに小中学校が連携して指導方法の改善に役立てる。



## 【個人結果票のイメージ】

### 質問調査の結果 ～規律ある態度の達成目標～

「規律ある態度」を身に付けることで・・・

- ・集中して授業に取り組めるようになり、授業がよくわかるようになります。
- ・ルールやマナーが身に付き、学校の活動にも楽しくなります。
- ・自分も周りの人も、気持ちよく生活できるようになります。

達成目標とどの達成状況

達成目標	R7
1 時刻を守る	通学は人の集合時こくや登校時こくを守ることができますか
2 身の回りの整理整頓をする	ぬいだはき物をそろえることができますか
3 通んであいさつや返事をします	自分からあいさつができますか
4 ていねいな言葉づかいを身につける	名前をよべたら「はい」と返事をすることができますか
5 学習のまきまりを守る	学習の準備を整え、授業にのぞむことができますか
6 生活のまきまりを守る	先生の話を聞き、自分の考えを伝えることができますか

ご家庭へのメッセージ

ご家庭で一人一人の力を確実に伸ばすためには・・・

ご家庭では調査の結果を見て、お子さんの「よいところ」、「努力が必要とところ」を把握し、一人一人のお子さんに合った「目標設定」をし、「家庭学習の習慣化」を図ることが効果的です。

また、お子さんと、「時間を守る」、「あいさつをする」など、ルールやマナーを守ることの大切さについて、あらためて話し合い、確認することが重要です。

お子さんのやる気を高めるには、調査の結果を見て、よかったところや伸びたところをほめて、お子さんたちに自信を持たせると効果的です。

自由記述欄

### 令和7年度 学力・学習状況調査 個人結果票【小学校6年生】

学力・学習状況調査を通して

小・中学校の授業は、お子さんの「確かな学力が豊かな心」「健やかな体」を育む大切な時間です。お子さんたちを見ると、「伸びる時期」、「伸びるスピード」は様々ですが、一人一人はしっかりと成長しています。私たちは、お子さんが現在の学力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。そして、自信を持って、自分自身に伸ばし、自分のよさをいかしていけるような教育を進めていきたいと考えています。この調査からお子さんの伸びやよい点を見つけ、まず「ほめる」ことから励みを始めてください。

### 教科に関する調査結果(2～3ページ)の見方

この調査では、各学年における学力のレベルがわかります。レベルが上がるほど難しい問題を解くことができます。過去の結果と比べることで「学力の伸び」を確認できます。

それぞれの学力のレベルで正解できる問題の例

レベル	国語	算数
レベル9	「文中の言葉が描いている状況を書き表す」	与えられた式の意味を、説明した文章の中から選ぶ
レベル8	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」
レベル7	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」
レベル6	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」
レベル5	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」
レベル4	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」
レベル3	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」	「資料を参考に、問題を解決する方法を導く」

学習に関するアドバイス

今日の学力の状況や、今後、どのような学習をすれば、あなたの学力が上がるのかを記載しています。

※ 上記で示す学力は、この調査で測定したものであり、お子さんの学力のすべてではありません。

### 国語

#### 教科に関する調査結果

今までの学力の変化

あなたの学力は、レベル12まで伸びました。

レベル	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生
レベル12						
レベル11						
レベル10						
レベル9						
レベル8						
レベル7						
レベル6						
レベル5						
レベル4						
レベル3						
レベル2						
レベル1						

学習に関するアドバイス

あなたの国語の学力は、昨年度1年間の学習により、大変大きく伸びています。自分の学習への取組に自信を持ち、上をさらに伸ばせるよう、今後も授業などの学習活動に積極的に取り組んでいきましょう。

情報の扱い方、我が国の言語文化は、大変よくできました。さらに力を伸ばすために、古典などの昔から伝わる文章を読んで、自分の考えをまとめていくことが大切です。図書館などで様々な種類の本を読んでみることもよいです。

また、物語を読む際には、登場人物の心情や考えについて関心をもちながら読むようにしてください。登場人物の心情や考えが書かれている文や活動の中心となる言葉に注目しながら読むと、内容がよく分かります。

#### 教科の領域別正答率

教科	正答率	全体の正答率
国語	71.4	67.8
算数	100.0	97.5
理科	75.0	38.5
社会	55.6	47.3
総合	70.0	53.0

#### 全体の正答率分布

あなたの正答率は、全体の正答率分布の1番高いです。

### 算数

#### 教科に関する調査結果

今までの学力の変化

あなたの学力は、レベル7まで伸びました。

レベル	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生
レベル12						
レベル11						
レベル10						
レベル9						
レベル8						
レベル7						
レベル6						
レベル5						
レベル4						
レベル3						
レベル2						
レベル1						

学習に関するアドバイス

あなたの算数の学力は、昨年度1年間の学習により、大変大きく伸びています。自分の学習への取組に自信を持ち、上をさらに伸ばせるよう、今後も授業などの学習活動に積極的に取り組んでいきましょう。

データの活用は、大変よくできました。データの活用や学習においては、目的に応じてデータを集めたり、適切な表やグラフを選んで説明したりすることが大切です。6年生ではデータの持ち方を表すデータの学習や順序よく整理して調べる学習をするので、表やグラフからデータの持ち方を考えたり、データを調べたり見やすくしたりして理解を深めましょう。

また、図形の学習においては、コンパスや分度器を使って正確に図形をかき、図形の持ち方を調べることも大切です。6年生では図形や拡大図、対称な図形の学習をするので、図形をかきるときはどんな図形になるか予想してから取り組みましょう。

#### 教科の領域別正答率

教科	正答率	全体の正答率
国語	71.4	67.8
算数	100.0	97.5
理科	75.0	38.5
社会	55.6	47.3
総合	70.0	53.0

#### 全体の正答率分布

あなたの正答率は、全体の正答率分布の1番高いです。

＊ 令和7年11月7日に、福島県教育委員会が、ふくしま学力調査報告書（学力の伸びの状況、質問調査の結果等）を公表している。